



碓氷峠の旧道などを舞台に6月8日と9日、安中市で初めて全日本ラリー選手権「MONTRE 2024」が開催されました。

全国から多くの「ラリースト」などが集まったほか、一流の運転技術や競技車両などを一目見ようと、競技コースや、スタート/ゴール地点となった安中しんくみスポーツセンターには1万2千人以上の観客が訪れ、大いににぎわいました。

全日本ラリー選手権 第5戦

「MONTRE 2024」

国内最高峰のラリー 安中で初開催

大会のメインイベントは、漫画やアニメなどで有名な「頭文字(イニシャル)D」の作中でも舞台になった碓氷峠(国道18号旧道下り)を競技区間(SS)としたタイムアタック。国道を通行止めにして開催されたラリー競技は、全国でも初めてのことです。

また、駆動方式や排気量などによって分けられた6クラスのうち、JN-5クラスに出場した本市在住のドライバー、嶋村徳之さんが見事、地元大会で初優勝を決めました。

今回は、そんな「初めて」が重なったイベントの様子を紹介します。

